

「システムイノベーションのケーススタディ講座(第一回)」 ご案内

2021年1月23日(土) 10:00-17:30

Microsoft Teamsによるオンライン開催

主催  一般社団法人 システムイノベーションセンター 人財育成協議会
Systems Innovation Center (SIC)

<https://sysic.org/>

開催趣旨

システムイノベーションセンターでは、これまで最適化やモデリングなどの様々な講座を行ってきました。システムを設計・構築・運用する上で、こうした技術を修得することが必須であることは言うまでもありません。しかし、システムは実学であり、理論だけではリアルなシステムを社会実装することはできません。現実のシステム構築にあたっては、技術的な課題を解決するだけでなく、ビジネスモデルの設計、システムを取り巻く利害関係者間の合意形成、社会的受容性の醸成など、持続可能なシステムを作り上げるために考慮すべき項目は多岐にわたります。こうした多様な課題を解決するスキルは、講義を受けるだけでは身につけません。

一般に、知識の伝達・共有ではなく、実践的な問題解決能力を育て、協調性・探究心といった素質を伸ばすための教育アプローチとしてケーススタディが有効です。ケーススタディは、実際に起った出来事(ケース)を教材としてケースを疑似体験することで、現実の問題解決能力を身につけるもので、ビジネス、医療・看護や教育といった分野での適用がよく知られています。

システムの分野も、ケーススタディが広く行われている上記分野と同様に、同じ状況でも人や組織によって対応方法が異なり、一つの解決策で画一的に課題を解決できるものではなく、ケーススタディが有効であると考えます。そこで、システムイノベーションセンターでは、実際にシステムイノベーションを起こした事例を教材としたケーススタディの講座を企画することといたしました。本講座では、これまでに社会実装されてきた様々なシステムを紐解き、受講生自らがそのイノベーションの現場を疑似体験することで、システム思考やイノベーションに必要なマインドセットを体得していただくことを目指します。

システムを考える上で、考慮すべき論点は多々ありますので、本講座はシリーズで実施し、毎回ごとに中心となる論点を明示した上で、ご案内を差し上げる予定です。

第一回では、東日本旅客鉄道(JR東日本)の東京圏輸送管理システム(ATOS)を取り上げます。ATOSは、世界に類を見ない超過密複雑輸送を支えている日本が誇るシステムの一つです。本ケースでは、主に、以下の論点に関して討議します。

- 大規模・複雑システムの設計・運用論
- システムアーキテクチャ構成論

SIC人財育成協議会担当 赤津雅晴(株式会社日立製作所)

講師

貝原俊也（神戸大学大学院システム情報学研究科教授・SIC学術協議会会員）

京都大学大学院工学研究科修士課程修了。三菱電機(株)生産技術研究所などを経て2001年より神戸大学大学院自然科学研究科助教授，2004年より同大学工学部教授，2010年より同大学大学院システム情報学研究科教授となり現在に至る。現在，同大学価値共創スマートものづくり研究センターのセンター長を併任。Ph.D.(Imperial College London)。システム最適化やシステムシミュレーションに関する理論と，その生産・サービス・社会システムなどへの応用に関する研究に従事。日本機械学会(フェロー)，国際生産工学アカデミー(CIRP)(フェロー)。システム制御情報学会(会長)，日本工学アカデミー，計測自動制御学会，電気学会，サービス学会，スケジューリング学会などの会員。

馬場裕一（東日本旅客鉄道株式会社）

早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。1991年東日本旅客鉄道(株)に入社し、鉄道システム関係の開発、プロジェクト管理業務に従事。ドイツ鉄道ミュンヘン研究所研究員、東京大学工学部委託研究員として鉄道無線システムの研究に従事。IECエキスパートとして鉄道システムの国際規格化業務に従事。現在、鉄道事業本部電気ネットワーク部次長 早稲田大学非常勤講師

プログラム

2021年1月23日(土) 9:45オンライン接続

	時刻	内容	形式
1	10:00-10:30	イントロダクション ・主催者挨拶 ・講座の狙い、システム化の観点	講義 木村英紀(人財育成協議会主査) 貝原俊也(神戸大学)
2	10:30-11:00	参加者自己紹介	各自1分以内
3	11:00-11:30	ケース理解	各自 自習
4	11:30-12:30	昼食休憩	
5	12:30-13:30	現行のATOSIに関するグループセッション	グループ毎討議
6	13:30-14:30	現行のATOSIに関するクラスディスカッション	全体討議
	14:30-14:45	休憩	
7	14:45-15:15	ATOSIの現状	講義 馬場裕一(東日本旅客鉄道)
8	15:15-16:15	今後のATOSIに関するグループセッション	グループ毎討議
9	16:15-17:15	今後のATOSIに関するクラスディスカッション	全体討議
10	17:15-17:30	まとめ	

ケース作成協力者：東日本旅客鉄道(株) 馬場裕一、土原茂之
(株)日立製作所 加藤博光、古屋聡一、矢野浩仁

受講対象者

企業のデジタルトランスフォーメーションを担う中堅技術者・幹部候補、システム開発のプロジェクトに参画していて、具体的な課題を抱える技術者（本講習はディスカッションが基本です。積極的に自分の意見を発言し、講師と一緒に講義を作っていくという姿勢で参加いただくことが望まれます。また、参加者には事前にケースを配布し、事前課題を提示する予定です）

受講生は「SIC システム人会(仮称)」のメンバーとして登録され、別途企画予定の「受講生の交流会」にご招待する予定です。

定員 : 30名 定員オーバーした場合はSICの会員を優先します

受講料 : 5,000円/人（SIC正会員企業の方は2名様まで無料）

お申込方法

下記の情報を明記のうえ、タイトルを「ケーススタディ講座申込み」として事務局宛にメールでお申し込み下さい。

- ・受講者氏名
- ・所属(会社名・部門)
- ・住所
- ・電話番号
- ・メールアドレス

締め切り日 **2021年1月18日(月)**

有料申込者には振込先を明記した請求書を事務局より発行いたします。

お問合せ先:(一社)システムイノベーションセンター事務局 office@sysic.org
電話:03-5381-3567 東京都新宿区西新宿 6-12-7 ストック新宿1F